

## ⑫ 山間部点検時における危険生物対策について

日本海電業株式会社

令和5年度神通川水系砂防事務所電気通信施設保守業務  
(履行期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

こんどう たけひこ

管理技術者 近藤 武彦

キーワード「山間作業」「危険生物」



### 1. はじめに

神通川水系砂防事務所管内に設置されている電気通信設備において、テレメータ観測局、CCTVカメラ、反射板、無線中継局舎は山間部に設置されております。また、場所によっては車で直接現地に行くことができないため、現地まで山間部を歩いて行くような場所があります。

山間部における危険性について考えられるものとして、蜂(スズメバチ等)、蛇(マムシ・ヤマカガシ等)、マダニ、熊などの危険生物による被害が考えられます。

### 2. 業務概要

本業務は、神通川水系砂防事務所管内に設置されている電気通信設備の保守点検を行う業務で、各設備の運用状況の把握と機能確保を目的とします。設備において障害が発生した場合には迅速な対応で、障害の早期復旧に努めます。

### 3. 山間部における危険生物について

山間部における危険生物について、主に蜂(スズメバチ等)、蛇(マムシ・ヤマカガシ等)、マダニ、熊が挙げられます。

おおよそ春から秋にかけて活動しているため、本業務の定期点検作業時(5月～11月)に遭遇する可能性が非常に高くなっております。

また、蜂に刺された場合や、蛇、マダニに咬まれた場合、以下の症状が発生します。

#### ● 蜂

一般的症状：患部の腫れ、痛み

軽症：蕁麻疹、体のだるさ、息苦しさ

中等症：喉が詰まった感じ、胸苦しさ、口の渇き、腹痛、下痢、嘔吐、頭痛、めまい

重症：意識が朦朧とする、痙攣、意識消失、血圧低下、アナフィラキシーショック

#### ● 蛇

軽症：患部の軽度の腫れ、軽度の痛み

中等症：患部の腫れ、痛み、皮下出血

重症：出血班、水疱、悪心、嘔吐、発熱、血尿、チアノーゼ、意識障害、血圧低下

- マダニ

咬まれた後、6日～2週間程度の潜伏期間を経て発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）、頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、痙攣、昏睡）、リンパ節腫脹、咳、紫斑、下血

#### 4. 危険生物に対する予防対策

危険生物に対する予防対策を以下にまとめました。

##### 4.1. 蜂の予防対策

- ・点検当日は香水や匂いのする整髪料をつけないようにする。
- ・黒色を攻撃する性質があるので白っぽい服装を着用する。
- ・巣を見つけたら近寄らず巣の近くでは大声を出したり、振動を与えたりしない。
- ・万が一に備え、蜂駆除スプレーを携帯する。

##### 4.2. 蛇の予防対策

- ・蛇がいるものだと思って足元をよく見て行動する。
- ・尻尾を踏む等刺激を与えた時に攻撃してくるので、仮に遭遇した場合は無視して立ち去る。
- ・石垣を住处としている場合も多いのでむやみに石垣などに近寄らない。
- ・服装は肌の露出部を少なくし、できるだけ長靴ゴム手袋を着用する。

##### 4.3. マダニの予防対策

- ・長袖、長ズボン、長靴等を着用し、肌の露出を少なくする。
- ・マダニを目視で確認しやすくするため明るめの色の服を着用する。
- ・入山前にマダニに効果のある虫除けスプレーを塗布する。

##### 4.4. 熊の予防対策

- ・熊鈴、ラジオを携帯し、人間の存在を知らせる。
- ・熊撃退スプレーを携帯しておく。
- ・単独行動をせず複数人で行動する。



蜂撃退スプレー



虫除けスプレー（マダニ効果有）



熊鈴



熊撃退スプレー

## 5 . 危険生物に遭遇及び危険生物から被害を受けた場合

危険生物に遭遇及び危険生物から被害を受けた時の対処法を以下にまとめました。

### 5 . 1 . 蜂に刺された時の対処法

- ・刺された箇所をポイズンリムーバーで毒を吸い出す。
- ・傷口を流水（水道水など）でよく洗い流し、毒を絞り出す。（毒を薄め、傷口を冷やす効果がある。）
- ・低い姿勢をとり、さらに刺されないように巣からなるべく離れ安全を確保する。
- ・ショック症状（意識が朦朧とする、痙攣、意識消失、血圧低下）が出た場合はすぐに医療機関に連絡する。もし自分一人で連絡ができない場合は、助けを呼ぶ。救急車等が到着するまで、ショック体位（足側を 15cm ~ 30cm ほど高くする姿勢）で安静にする。

### 5 . 2 . 蛇に咬まれた時の対処法

- ・咬まれた箇所をポイズンリムーバーで毒を吸い出す。また、口付近に傷が無いのであれば口で毒を吸い出してもよい。（口で吸っても 胃液で分解されるので心配ない）。
- ・咬み傷を流水（水道水など）でよく洗い流し、毒を絞り出す。
- ・咬まれた箇所から 10cm 程心臓側を紐などで指 1 本入るくらいの緩みをもたせて縛る。紐などが無ければ咬まれた箇所を心臓の高さより下にしておく。
- ・安静にして救護者に担いで搬送してもらう。無用な動きは毒の周りを早めるため落ち着いて行動する。
- ・咬まれた直後に症状が出なくても数時間後に重篤な症状が出る恐れがあるので必ず医療機関を受診する。

### 5 . 3 . マダニに咬まれた時の対処法

- ・無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置（除去、洗浄）してもらう。
- ・咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は速やかに医療機関を受診する。

#### 5.4. 熊に遭遇した時の対処法

近くに熊がいることに気づいた場合

- ・落ち着いて、静かにその場から離れる。

近くで熊と遭遇した場合

- ・熊は逃走する対象を追いかける傾向があり、背中を見せて逃げ出すと攻撃性が高まるため、熊に背を向けず、熊を見ながらゆっくり落ち着いて後退し、熊が立ち去ってからその場を離れる。

熊に襲われた場合

- ・熊撃退スプレーを噴射する。
- ・それでも襲ってくるようであれば足を広げたままうつ伏せになり、両手の指を組んで首の後ろを守る。リュックを背負っている場合はそのまま背負い、背中を守る。



ポイズンリムーバー



熊に襲われた場合の防御姿勢

#### 6. まとめ

蜂、蛇、マダニ、熊による被害は年々増加しております。山間部では危険生物が身近にいることを前提に安全対策を考え、いかに被害に遭わないようにするかを日々のKY活動により全員で共有することが重要であると考えられます。被害に遭わないための対策はもちろんのこと、普段より病院へ行きづらい場所で被害に遭ったらどう対処するのかという対策が必要と考えます。山間部に入るといふ事でどんな危険があるのか考え、今後も安全に作業を実施していきたいと考えます。

#### 参考文献

蜂刺され災害を防ごう（林野庁）

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/anzen/yonn.html>

へびに咬まれたら、ハチに刺されたら（愛知教育大学健康支援センター）

<https://www.aichi-edu.ac.jp/kenkou/docs/0b8db27eb4f93f0763cf050c7da4017deb192803.pdf>

ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

クマに出会ってしまったらどうしたらいいの？（NHK 北海道）

<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-na4ca7de11ddd>